

わらの里通信

第3号

第3号

新元号が耳に新しいこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。新時代を迎えても、八街わらの里は変わることなく、わらの里通信も編集部一同、心を込めて情報をお届けして参りたいと思っております。よろしくお願いいたします。



ホワイトデー

3月14日、ホワイトデーのイベントを行いました。バレンタインデーで女性利用者様からもらったチョコレートのことを思い出し、男性利用者様たちはそれぞれの思いを胸にこのホワイトデーを迎えたことでしょう。

今回のホワイトデーは、レクリエーションゲームを交えたスタイルで行いました。まず女性利用者様たちに円状に並べた椅子に座って頂き、その周りをお菓子をラッピングした

社会福祉法人 泰斗会
八街わらの里
八街市八街は 3-235
Tel 043-441-1100
Fax 043-441-1101
令和元年 5月発行

まったりとしたところではない、ストップ！・・・目の前にいる女性にお菓子を手渡し。この偶然と、ちよつとした駆け引きが入り交じる、ホワイトデー・ゲームにみなさんドキドキ、ワクワク。メンバーを変えながら何回か繰り返し行いましたが、やはり意中の女性を選んでプレゼントをしたのが男性陣の本音です。ゲーム形式のプレゼントタイムの後には、アデイショナルタイムとして、ご希望の女性にきちんと手渡しをして頂きました。最初からそうすればいいような気もしますが、なかなか意中の人にあげられないハラハラ感を演出した職員がいじわる・・・いえ、遊び心です。

贈り物を抱えた男性利用者様たちがぐるりと囲みました。ハンカチ落としのかたちですね。そしてピアノの音楽を流し、男性陣がその周りをぐるぐると周り、音が止



実習生来る！

3月4日から2週間にわたって、千葉経済大学短期大学部こども学科に通う短大生2人が、八街わらの里に実習生として訪れました。

麻生寿彌彩さんと齋籐美紅さん、お二人とも、今は保育士を目指しているようですが、様々な体験をし、知見を広げたいという意欲が感じられました。

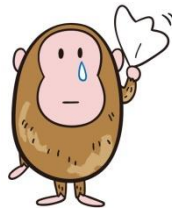
主に創作活動室内での活動の手伝いや、見守り、利用者様とのコミュニケーションを体験してもらい、また、食事介助、入浴介助についても見学、その現場を学んで頂きました。

2週目には、お二人それぞれに案を出してもらい、レクリエーションを進行してもらいました。麻生さんはキーボードを弾きながらの「貨物列車」、齋籐さんは「フルーツバスケット」「ペットボトルダーツ」を行い、利用者様たちと一緒に楽しみました。

あっという間に2週間が経ち、最終日には、お別れ会を行いました。皆で作った花束とありがとうのカードを贈り、今や八街わらの里ソングとなっている「手のひらを太陽に」を手話を交えて披露し、それから「思い出のアルバム」を歌いました。

会が終わわり、一息つくくと、一人の利用者様が握手を求めて実習生の元に歩み寄りました。すると我も我もという感じで皆が実習生を取

り囲み、握手を求め、そして感極まり涙を流す利用者様も数名おられました。実習生も名残惜しように、みなさんに別れの挨拶をしていました。



実習を終え、麻生さんは「食事の時、ひとりひとり、刻んだり、ミキサーにしたりという、利用者に合わせて対応をしていることや、その他でも、施設の仕組みや細かい工夫に驚いた」と話し、齋藤さんは「音楽やテレビや趣味の話などをして、障害を持つ人たちと自分に、多くの共通点があることを知り、身近に感じるようになった」と話していました。この4月で短大2年生になったお二人。これからもいろいろなことを学び、それぞれの道に進んでもらいたいと思います。爽やかな一陣の風が八街わらの里を吹き抜けていきました。



歓迎会

私たちは今、大広間で、2列に並んだ椅子に座っている。黄色いシャツを着た人が私たちに話しかけている。黄色いシャツを着た人たちはみんな優しく、いつも私たちを楽しませてくれる。今日は4月2日で、これから新しい友達を迎えるところだ。

広間の入り口には、私たちが作った花飾りのついたアーチが飾られている。ピンクや赤の花飾りがキラキラと光っていてアーチは5本ある。お花からあふれるキラキラした粒は空を飛んで部屋中をキラキラと舞っている。新しい友だちがそのアーチをくぐる。

私たちは新しい友だちに歌を贈った。私たちの声はそよ風になって、広間を吹き渡りキラキラの粒を踊らせる。広間がまぶしく光り輝いている。

それから、新しい友達があいさつをした。古瀬恵美子さんは恥ずかしそうに手を服の中に入れていた。三須沙弥香さんは落ち着かない様子で、どこかに行ってしまうようだ。山田浩次さんはしっかりとあいさつをした。これで3人は今日から友だちだ。

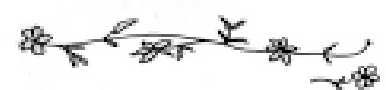
私たちは今が春だということを知っている。春はピンク色の花が町をキラキラさせる。夏は雲が厚くなって、遠くの地面がゆらゆら揺れる。秋は夕焼けが空を真っ赤に燃やす。

冬は白い雪がぴかぴかに町をきれいにする。私たちは町が姿を変えながらいろいろな景色を見せてくれるのを知っている。

今日新しい友だちができた。とても嬉しいことだけど、いなくなった友だちもいて、思い出すと時々淋しい。でも私たちはその友だちのことを決して忘れない。忘れないことがずっと友だちでいるということなのだ、私たちはちゃんと知っているからだ。

花見会

今年は一街わらの里からほど近い住野神社で花見会を行いました。晴天で桜も満開の花見日和の中、桜を眺めたり、シャボン玉で遊んだり、みなさんとても楽しんでおられました。数日前には、住野神社に向かい、みんなでゴミ拾いを行いました。八街わらの里としまして、これからもより地域に密着し、より地域に愛される施設作りを目指し活動を展開していきたくと考えております。



支援員に聞く!!

特集でお送りする「支援員に聞く!」第1
回目は、戸村裕通さんにお話を聞きました。

「まず、1年間にわたる強度行動障害支援者
養成研修を終え、どんな気持ちですか

「つらかった(笑)」

「(笑)」

「まあ一番思うのは、研修に行ってる間、わ
らの里の職員に負担をかけてしまったなど」

「つらかったです(笑)」

「いい研修ではあるんですけど、施設の規模
によっては、研修を受けるのが難しいところ
もありますね。」

第3号

「現場を抜けて研修に行く感じでもんね

「みんなに気持ちよく仕事をして欲しいんだ
けど、それを崩しちやつてるようなね・・・」

「ああ・・・」

「ただ、1年間の中で、他施設の支援員さん
と親密になれたことがでかいかな」

「チームを組んで行ったんですよ

「16人から4人グループを4つ、というか
たちでしたね。いろいろ話もして、今後も頼
りになる存在が出来たかなと」

「強度行動障害」について教えて頂けま
すか

「一言で言うと、利用者様の困っている行動」
「その、本人が困っている、それとも周りが

困っている・・・

「うーん、どちらかというところ、周りが困つ
てる。例えば、本人はいろんなところでおしつ
こをした、でも、周りの人はそれは困る。
それが例えばだだっ広い公園とかで、まあ社
会的には良くはないけど、まあ、そこならし
てもいいよね、っていう。でも、屋内でそれ
は困るよねって。難しいところではあるんで
すけど」

「なるほど」

「主に、周りが困っている、周りの方々に迷
惑をかけてしまう行動、ですね」

「著しくという感じですね。それではそこで
学んだことを一言で・・・一言では語りきれ
ないとは思ってますけど」

「一番学んだのは構造化、視覚化ですね」

「構造化。難しい言葉ですけども」

「生活の流れを言葉ではなく、目で見てわか
るようにわかりやすく空間を整えることです」

「はい」

「わらの里も構造化がもっと進めば、より良
い支援につながるかもしれないですね」

「最後に、強度行動障害を持つ方たちに対し
て、私たちが出来ることは」

「強度行動障害に関わらず、まず寄り添う。
もっと具体的に言うなら『なぜその行動をす
るのか』を考えてあげる。また、全然違うア
プローチから、困っている行動がなくなると

いうこともあるので、何が正しいとかがって

うのはいんですけど、いろんなアプローチ
の仕方を勉強していくのが大事だと思います」



「1年間お疲れ様でした。それでは話は変わ
りまして、この4月で人事の異動があり、戸
村さんはグループホームあおいのサービスマ
ンになりましたね。心構えなどありますか

「一番はみんなの健康管理をしっかりしてい
かなきゃなっていうことですね」

「そうですね」

「それと、わらの里での仕事と、グループホ
ームでの仕事と、両方わかるようになるので、
お互いをうまくまとめたいけるような存在に
なっていければなと」

「連携がうまくいくように、と」

「そうですね、うん」

「今年は泰斗会、八街わらの里10周年を迎え
ますが、戸村さんにとっても節目の年になる
のかなと思うんですけど」

「10年・・・まあ元々サラリーマンをやっ
て、事務仕事、営業とやってきて、今、福祉
の世界に入って・・・あつという間ですね。
ありきたりですけど、みんなの支えがあつて
のことですね」

「では今後20周年に向けて、わらの里、あ

おいはどうなるべきでしょう
「まあ、地域を巻き込んで・・・でもまあ、無理かなあ・・・あれだしなあ・・・(ぶつぶつ独り言を言う)」

「ぼそぼそ言わないで下さい(笑)」

「ああいと、わらの里と、あとひだまりの里、みんなで一緒に楽しい行事を増やせてくれたらいいなって」

「いいですね」

「ひだまりの里広いからね。お祭りとかね。ちよつと期待してる部分あるよね」

「ではありがとうございます」

「はい、ありがとうございます」

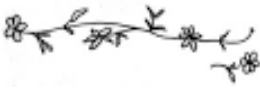


ポイントカード導入

新年度が始まり、この4月から、全利用者様にポイントカードを作製しました。



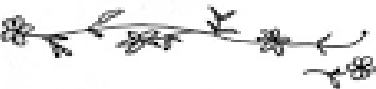
このポイントカードは、施設で行うキャツ



プ選別作業、大掃除、美化活動、避難訓練等、特定の活動を行った際にポイントをひとつ進呈し、ポイントがたまりましたら景品をプレゼントする、といったかたちで活用します。利用者様の楽しみややる気を引き出す役割が出来たら、と思っております。

たけのこ掘り

4月24日(水)、たけのこの里へ行き、たけのこ掘りを行いました。昨年は大雨のため中止となったたけのこ掘り、今年こそは、と準備を進めて参りました。さて、当日、曇りで、夜から雨という予報の中、たけのこの里に向かうと、雨がパラパラと降り始め、まさか今年も!?!と危ぶまれましたが、雨は上がり、無事にたけのこ掘りを行うことが出来ました。今年も育成状況のタイミンがちょうど良く、掘り頃のたけのこが所狭しと育っており、豊作の年となりました。お持ち帰り頂いた利用者様とご家族の皆様は旬のたけのこを美味しくいただけたら幸いです。



新規職員紹介

4月から働いています。
「市原 有希」です。
まだ何もわかりませんがよろしく願います。



わらの里で働くことになった「金澤 由美」です。元気で明るいのが取り柄です。頑張りますのでよろしく願います。



ご寄付のお礼

ご家族の皆様方より、お菓子や野菜、キャツプ等を頂き、心より感謝いたします。



令和になっても、八街わらの里をよろしく願います!